

令和
3年度

前立腺がん検診

簡単な
検体郵送法
自己検診



子宮頸がん検診を実施します

組合では、組合員及び加入の家族を対象に下記要領により郵送によるがん検診を実施いたします。定期的に検査を受けることが早期発見・早期治療の決め手となります。

郵送によるがん検診は、自宅で簡単に受診できますので、ご自身の健康状態を把握するためにもぜひこの機会をご利用ください。

実施要領

対象者 組合員及びその家族 *家族の方は組合の被保険者に限ります。

検診費用 無料(全額組合負担)

検診項目 (1) 前立腺がん検診(男性):血液検査*専用の器具を使い、指先から採血します。
(2) 子宮頸がん検診(女性):専用の器具を使い、子宮頸部の細胞を自己採取します。

*2つの異なった目的の検査を適切に組み合わせて行うのが最良の方法です。

下記項目①～③いずれか1つ選択してください。

検査項目	ポイント
① HPV・細胞診セット	30歳以上の方に推奨※
② 細胞診	30歳未満の方に推奨(毎年)
③ HPV単体	子宮頸がんの原因であるハイリスク型HPV感染の有無(がん発症のリスク)を知りたい方に推奨※

※ ①HPV・細胞診セット及び③HPV単体検査について

・両検査とも陰性の場合:次回の検査は3年後を推奨。

・昨年陽性判定の方:ウイルスが消失するまでの6~12か月ごとにHPV検査により確認することをお勧めします。

・昨年陰性でも自覚症状等気になることがある方はご受診ください。

申込方法 ◆FAXでお申し込みの方:別紙の「がん検診申込書」に必要事項を記載し、下記検査機関にお申し込みください。

◆郵送でお申し込みの方:別紙の「がん検診申込書」に必要事項を記載し、その裏面の封筒組立例を参考に組立て、ポストに投函してください。

申込締切日 令和3年5月末日(消印有効)

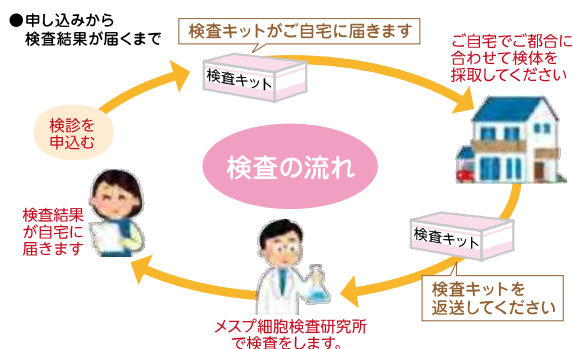
検体返送締切日 令和3年6月末日(消印有効) *必ず期日までに検体をご返送ください。

注意 検体返送締切日までに検体を返送されない場合は、自動的にキャンセルされたものとし、器具代+手数料を徴収いたします。

検査結果通知 検査結果は約3週間で個人宛に通知されます。

※異常があった場合には、専門医による精密検査が受けられるよう、適切な指導をいたします。また、病院紹介・紹介状作成をご希望の方は、下記検査機関にお問合せください。

検査の流れ



検査機関 メスブ細胞検査研究所

お気軽にお問合せください

- 医療機関紹介
- 紹介状の作成
- 検査へのご質問
- 検査結果へのご質問
- その他

TEL: 075-231-2230 (平日9:00~17:00)

FAX: 075-211-7400

メール: mail@m-sp-kyoto.co.jp

ホームページ:

<http://www.m-sp-kyoto.co.jp>

*受診者の個人情報は検査器具・請求書送付・検査結果報告、それにとまう統計・分析などの範囲に限定して使用されます。

毎年受けましょう! がん検診!

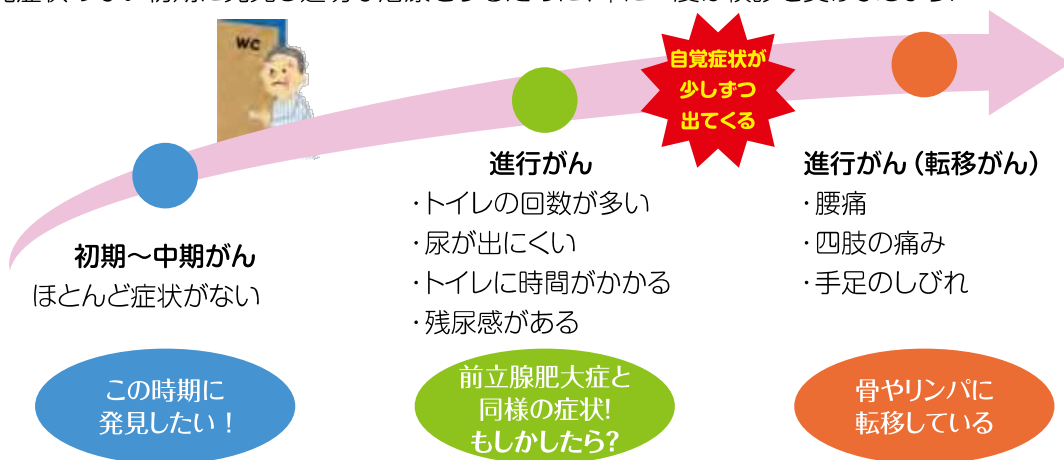
前立腺がん

子宮頸がん・HPV検査

ご都合のいい時に採取して返送するだけ!
検診機関に出向かずに、自宅のできる検査です。

前立腺がん検診 2025年度予測で男性がかかるがん:第1位です。

- ・前立腺がんは初期には自覚症状はありません。がんの症状が出てから診断がついた場合、20~30%の方が進行がん・転移がんの状態です。
- ・自覚症状のない初期に発見し適切な治療をするために、年に一度は検診を受けましょう!



子宮頸がん検診 初期には自覚症状はほとんどありません。検診を受けましょう!

2つの異なった目的の検査を適切に組み合わせて行うのが最良の方法です。

(実施要領の検診項目もお読みください。)

細胞診

子宮腔・頸部の細胞を顕微鏡で調べます。
がん細胞や異型細胞(前がん状態)の段階
を見つけます。

+

HPV検査

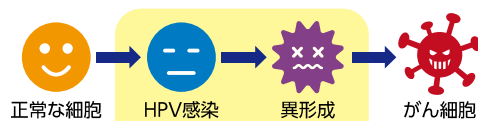
子宮頸がんを引き起こす13種類のハイリスク型HPV感染の有無を調べる検査です。

細胞診とHPV検査のセット検査では

- ① **がんになる前(前がん病変)の段階を高精度**に見つけることができます。
- ② 前がん病変で見つけることができれば、**子宮を残して治す**ことができます。
- ③ 将来がんになる**“リスク”**もわかります。
- ④ 一度の採取で二つの検査を同時に受けられます。

子宮頸がんは発がん性ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が原因です。
(HPV自体は非常にありふれたウイルスです。)

HPV感染者のリスクは非感染者の**400倍以上!**



ウイルスが排除されれば細胞は自然と正常に戻ります。

細胞診で発見できます

HPV検査でハイリスクHPV感染の有無がわかります。